

「挑戦・友愛・創造」

串間市立串間中学校 校長 平田 史士

志を立て自立・自学・自力を身に付けよう！

令和3年度 立志式

○3月17日(木)に、2年生による「第5回串間中学校立志式」を、串間市青少年育成市民会議会長の鎌田芳徳様をご来賓のとしてお迎えし、無事開催することができました。

「立志」とは、「志を立てること。将来の目的を定めて、これを成し遂げようすること。」です。そして、立志式は、古来の「元服」にならい、十五歳を迎える前の中学2年生の今の時期に「『志』を立て、自分の将来に向けて、精神的な支えにしよう」と行う儀式です。これから長い人生を見据えて、自分の生きていく目的とは何かを定めて、それを成し遂げる誓いをするのが立志式です。コロナ禍ということもあり、来賓の数を減らしたり、式の内容を簡略化し時間短縮を図ったりと、対策を講じながらの立志式となりました。

式では、1組代表…山下莉央さん、2組代表…藤川頼輝さん、3組代表…内田凰聖さん、4組代表…野寺菜桜さんの4名が「自分の志を表す漢字」を発表し、その後全員で「誓いの言葉」を発表しました。保護者の皆様には、平日のお忙しい中に、ご出席いただきましてありがとうございました。コロナ感染拡大の影響により、期日が二転三転いたしましたことをお詫び申し上げます。

↓ 【生徒代表による誓いの言葉発表の様子】 ↓



↑山下さん漢字は「懸」

↑藤川さん漢字は「頼」

↑内田さん漢字は「夢」

↑野寺さん漢字は「未」

立志式記念講演

○記念講演では、宮崎第一信用金庫串間支店長の中村春貴様を招いて、「はじめてのお金の時間」と題してお話をいただきました。

成人になる年齢が20歳から18歳に引き下げられ、クレジットカードや金融機関からお金を融資してもらえる年齢も18歳からとなります。

最近では、簡単にお金を借りられるシステムが数多くあります。しかし、お金を借りるということは信用を得ている証であり、貸す側と借りる側が信用でつながっています。その信用を失わないためにも、正しいお金の使い方をしていくことが大切ですね。中村様、お忙しい中ありがとうございました。



【志を立て 自立・自学・自力を忘れずに！】

○令和3年度が無事修了しました。コロナウイルス感染拡大は収まることなく、学校生活では、マスクを着けたまま授業を受け、黒板を向いて、1人黙々と給食を食べる黙食の時間が今も続いています。しかし、子どもたちの学びの手は緩めることなく、体育大会や合唱コンクール、修学旅行、卒業式等大きな行事は実施することができました。「当たり前の生活が当たり前でなくなってしまった」…2年以上が経ちます。コロナ禍になる前の生活が戻ると信じて4月からの新学年をスタートさせてほしいと願っています。串間中学校は串間市に一つしかない中学校です。「良くても一番…悪くても一番」どうせなら、地域の方々から愛される1番の学校にしてほしいと願っています。2年間お世話になりました。ありがとうございました。

令和3年度修了